

令和8年度 全国学力・学習状況調査より ～結果の分析と改善点～

令和8年10月発行
坂井市立春江中学校

学習面について

国語

文脈に即して漢字を正しく選択することや、事象や行為を表す語彙を選択することについては今年度も概ね良好です。一方で、引き続き根拠を明確にし、表現を工夫したりして、自分の考えを伝える文章を書くこと、文章を読んで自分の考えをもつことに課題がみられます。また、後半になると、無回答率が非常に高くなっています。思考・表現力を高めるため、読み取ったことをもとに「自分の考えをもち表現する」ことに重点をおいた授業づくりに努めていきます。また、解けなかった問題を改めて生徒と一緒に確認し、諦めずに最後まで設問に取り組む姿勢を育てていきたいです。

学習指導要領の領域	話す・聞く	書く	読む	言語
県平均	▲	▲	▲	▲
全国平均	▲	▲	▲	◇

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	▲	▲	
全国平均	▲	▲	

【話す・聞く】(目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかをみる問題)

話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選びなさい。
発言:「まずはみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、そうしていけばよいかを考えませんか。」
正答 1(これから話し合う内容と手順を明確にしようとしている。)

【書く】(表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、良い点や改善点を見いだすことができるかをみる問題)

石井さんは、自分が書いた文章について、山田さん、田中さんと交流し、この文章の良い点や改善点と、それを踏まえた今後執筆を書くときに生かしたいことをまとめています。あなたならどのように書きますか。資料を参考にしながら書きなさい。※記述式

【読む】(目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる問題)

本文中の擬音語・擬態語の特徴を次のようにまとめた。空欄に入る言葉として適切なものを選びなさい。
「会話の表情を表す擬音語・擬態語は、()ことができる。」
正答 3(口調や顔つきなど話し方の様々な要素をまとめて表す)

【言語】(単語の種類について理解しているかをみる問題)

「投げられる」を説明したものとして最も適切なもの一つを選びなさい。
正答 4(「投げる」という動詞と「られる」という助動詞でできている。)

本校の平均正答率(%)の全国・県との比較

- ... 2ポイント以上の +
- ... 1ポイント以上から2ポイント未満の +
- ◇... ±1ポイント未満
- △... 1ポイント以上から2ポイント未満の -
- ▲... 2ポイント以上の -

- ＜留意点＞ 1 調査結果から読み取れるのは、あくまでも児童生徒の学力の一部分であり、学校における教育活動等の一側面です。
2 「成果」と「課題」は、学校全体の実態を示したものでなく、調査対象である「中学校第3学年」の調査時点(4月)における状況を示したものです。

数学

各領域・評価の観点において、関数領域において県、全国平均を上回りました。関係性をみて値を求めたり、グラフを読み取ったりすることはよくできていました。しかし、数学的な表現を用いて説明する問題や言葉の意味を理解しているかと言った問題に課題が見られます。数学的な用語に対する正確な理解やそれらを用いて説明することができるように学習していきましょう。
今後は、数学的な用語の正確な理解やそれらを用いて説明する活動を多く取り上げながら理解を促す指導を心がけていきます。生徒が自ら説明したり、説明したいと思うような課題に触れ、生徒が「やりたい」と思えるような授業を考え実践していきます。

学習指導要領の領域	数と式	図形	関数	データの活用
県平均	▲	▲	●	▲
全国平均	▲	▲	●	▲

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	▲	▲	
全国平均	▲	▲	

◎ 反比例の関係を表す表の特徴を捉えてxの値に対応するyの値を求めることができたかをみる問題

下の表は、yがxに反比例する関係を表したものです。□に当てはまる数を求めなさい。

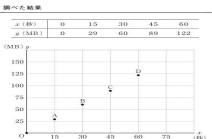
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	...
y	...		-6	-12		12	6	...

正答 -4

数の関係性からあてはまる数を求めることができています。正答率が県平均を上回っていました。変化に対しての対応をしっかりと考えられているようです。

◎ 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる問題

下の表は、yがxに反比例する関係を表したものです。□に当てはまる数を求めなさい。



正答 (45, 89)

正答率が県平均を上回っていました。与えられたグラフから必要な情報を読み取ることができていました。情報がたくさんある中で、必要な情報を読み取ることに長けています。

▲ 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題

(3) アー君の誕生日の年齢の10倍よりも10少ない数を表す式を用いて説明した例を2人に見せました。次に、空欄に記入してアとBを1について、AとBの年齢の差を求めなさい。

正答 A-Bは選んだ2数の差の91倍になる。

正答率が県平均を下回っていました。数学的な表現を用いて説明することに苦手意識があるようです。数学の用語を正確に理解していくことやそれらを用いて説明したり解答を読んでみたりする学習をしていきましょう。

▲ 累積相対度数の意味を理解しているかどうかをみる問題

(5) 保健委員の森さんと整さんは、自分の学校の生徒の睡眠時間の調査について、保健委員の森さんと整さんと話し合いました。そこで、全校生徒300人を対象に、ある日の睡眠時間の分布を調査し、睡眠時間を調べました。

正答 90

表の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

睡眠時間(分)	人数(人)	累積人数(人)
40 ~ 50	1	
50 ~ 60	14	
60 ~ 70	75	75
70 ~ 80	126	
80 ~ 90	62	
90 ~ 100	20	
100 ~ 110	2	
合計	300	

全校生徒の睡眠時間の度数分布表の()には各々の睡眠時間の範囲に属する人数を記入し、()には各々の睡眠時間の範囲に属する累積人数を記入し、()に当てはまる数を求めなさい。

正答率が県を下回っていました。上の問題と同様に数学的な言葉が忘れていたりうまく使えなかったりすることが原因と考えられます。数学的用语は漢字からつながることが多いので、例えば、「累積→積み上げていく」など漢字の意味と繋げながら正確に覚えていきましょう。

英語

聞くことを除き、各領域・評価の観点において、全国の平均より低い正答率でした。日常的な簡単な英会話や自分の意見や理由を述べる「自由なアウトプット」は得意とする一方で、複雑な物語や長文を正しく読み取る「読解力」、対話における「即興の応用力」が苦手だというのが今回の結果から分かりました。今後は、定型文の暗唱だけでなく、相手の質問に対して「適切な返答」を即座に組み立てる練習や、単語の意味を追うだけの文章読解ではなく、「何を伝えたいのか」「人物の気持ちはどう変化したのか」など、文脈理解の練習をしていきます。

学習指導要領の 領域	聞く	読む・書く	話す
県 平均	◇	▲	▲
全国平均	○	▲	▲

評価の 観点	知識・技能	思考・ 判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
県 平均	▲	▲	
全国平均	▲	▲	

- **聞くこと**
店員と客の会話やショッピングセンターのアナウンスなど、日常生活の場面における情報把握は全国平均を上回っています。
- **書くこと**
中学校の思い出と感想を書く問題では、条件をすべて満たした完全正答(型1)が、全国平均を大きく上回っています。
- **話すこと**
留学生と一緒にしたいこととその理由を話す問題では、完全正答(型1)が極めて高く、自分の考えを英語で表現する力を発揮できています。

- ▲ **読むこと**
読解問題では全般的に全国・都道府県平均を若干下回る傾向があります。特に物語全体を通して登場人物の気持ちの変化を読み取る問題や、文章の最も伝えたいことを把握する問題で差が開いており、「文脈の正確な把握・要旨理解」の強化が必要です。
- ▲ **書くこと**
学校で普段行うことの説明を書く問題では無回答率が高かったです。条件や説明が必要となった際、諦めずに英文を構成する粘り強さが必要です。
- ▲ **話すこと**
相手からの質問に対し、自分の考えを話したり、その理由を述べたりする課題での無回答率が高かったです。ある程度の量の英文を即興で話し続けるハードルの高さが伺えます。

生活面について

生活面のアンケート調査によると、本校生徒は、多くの項目で全国平均を上回っています。下回っていた項目は、家庭との連携・協力を図りながら生徒の意識を高め、改善していきたいと思います。

良いところ

[生徒質問紙より]

- ☺ **生活習慣が確立している。**
・朝食を毎日食べている。
・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
本校 94.2% (全国 90.9%)
本校 83.9% (全国 80.5%)
- ☺ **学校生活で友達と良好な関係が見られる。**
・学校に行くのは楽しい。
・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
本校 87.3% (全国 85.4%)
本校 85.3% (全国 78.6%)
- ☺ **思いやりがあり、行動力がある。**
・人が困っているときは、進んで助けていますか。
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
本校 92.2% (全国 90.8%)
本校 96.6% (全国 95.1%)
本校 98.5% (全国 95.9%)

改善するところ

- ☹ **学んだことを自ら生かそうとする態度を養う。**
・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む。
・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる。
本校 75.1% (全国 78.8%)
本校 66.9% (全国 70.8%)

家庭学習に取り組もう

- ☹ **学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)家庭で、塾等も含めて1時間以上学習する生徒の割合は、本校では51.3%(令和7年度53.6%)です。県平均は51.4%、全国平均は61.6%であり、全国の平均よりも低くなっています。また、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、2時間以上学習する生徒の割合は、本校では20.0%(令和7年度26.2%)、県平均は24.4%、全国平均は29.9%となっています。このことから、本校3年生の家庭学習の時間は減少傾向であり、学習内容の定着(復習)、自主性の育成(予習)などの観点から、家庭学習を充実させていく必要があります。現在は、「生徒が主体的に学習に取り組むことができるように」と、各教科の課題(宿題)の量も考えられています。課題(宿題)は家庭学習に取り組み始めるきっかけとし、課題(宿題)が終わってからは「自ら学習を楽しみ深めるための時間」と捉えられるように、意識改革をしていきましょう。**

Q.学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

	3h以上	2~3h	1~2h	0.5~1h	0.5h未満	まったくしない	無回答
本校	4.9%	9.8%	36.6%	30.7%	12.7%	4.9%	0.5%
県	3.8%	13.7%	33.9%	28.6%	14.1%	5.6%	0.3%
全 国	8.9%	21.2%	31.5%	19.5%	11.5%	6.9%	0.4%

Q.土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

	4h以上	3~4h	2~3h	1~2h	1h未満	まったくしない	無回答
本校	2.4%	5.9%	11.7%	32.2%	28.3%	9.8%	9.8%
県	3.8%	5.4%	15.2%	26.8%	26.8%	11.0%	10.9%
全 国	5.1%	8.0%	16.8%	22.6%	21.4%	13.4%	12.7%